

III 調査結果のあらまし

第4 4回市政に関する世論調査の結果

1. 宇都宮市に対する感じ方について

(1) 宇都宮市の好き・嫌い

「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた【好き（計）】は9割近くとなっている。

(2) 好きな理由

宇都宮市で好きだと思ふところを聞いたところ、「自然災害の少なさ」がほぼ6割で最も高く、次いで、「買い物など日常生活の便利さ」、「自然環境の豊かさ」、「慣れ親しんだところ」と続いている。

(3) 嫌いな理由

一方、宇都宮市の嫌いだと思ふところを聞いたところ、「街に活気がないところ」が4割を超えて最も高く、次いで、「交通マナーの悪さ」、「交通渋滞の多さ」、「電車やバスなどの交通機関の整備が遅れているところ」と続いている。

2. 広報媒体の活用状況について

(1) 「広報うつのみや」の入手方法

「広報うつのみや」の入手方法について聞いたところ、「新聞折込で自宅に届いている」が8割を超えて最も高くなっている。「手に入れていない」はほぼ1割である。

(1-1) 「広報うつのみや」の閲読状況

「広報うつのみや」を入手していると答えた人に、どの程度読んでいるか聞いたところ、「くわしく読む」と「ざっと読む」と「関心のあるところだけを読む」を合わせた【読む（計）】は9割近くとなっている。

一方、「あまり読まない」と「まったく読まない」を合わせた【読まない（計）】は1割を超えている。

(1-2) 「広報うつのみや」で読んでいる記事

「広報うつのみや」を読んでいると答えた人に、主にどの記事を読んでいるか聞いたところ、「市政情報（健康、文化、教養、税、雇用情報など）」が7割近くで最も高く、次いで、「宇都宮美術館、市文化会館、ろまんちっく村、図書館など市の施設の催し物情報」、「特集（市の重点事業）」、「情報カレンダー（市イベントのカレンダー）」、「相談窓口（法律・行政・健康など各種相談のお知らせ）」と続いている。

(1-3) 「広報うつのみや」を入手していない理由

「広報うつのみや」を入手していないと答えた人に、入手していない理由を聞いたところ、「入手方法を知らないため」が5割を超えて最も高くなっている。

(2) 「広報うつのみや」で充実してほしい情報

今後、「広報うつのみや」で取り上げてほしいまたは充実してほしい情報を聞いたところ、「身近な暮らしに関すること」が3割台半ばを超えて最も高く、次いで、「保健・医療など健康に関すること」、「市の行事や催しのお知らせ」、「市の各種制度や事務手続きの説明」が約3割と続いている。

(3) 市政情報の各広報媒体の視聴状況

「広報うつのみや」以外の10の広告媒体について、「よく見る（聞く）」と「ときどき見る（聞く）」を合わせた【見た（聞いた）ことがある（計）】は、「インターネット（宇都宮市ホームページ）」が3割台半ばで最も高く、次いで、「ようこそ宇都宮市のデータ放送へ」、「馬場町交差点にある電光表示板」、「ほっとHOTみや」と続いている。

(4) 市政情報を得るために利用したい手段

今後、市政に関する情報をどのような手段で知りたいか聞いたところ、「広報うつのみや」が7割台半ばで最も高く、次いで、「新聞」、「テレビ」、「ホームページ」、「タウン誌」と続いている。

3. 発達障がいについて

(1) 「発達障がい」について知っているか

「発達障がい」について知っているか聞いたところ、「内容まで知っている」が3割近くとなっている。一方、「聞いたこともなく、内容も分からない」は1割弱となっている。

(1-1) 障がい名について

「発達障がい」について「言葉は聞いたことがあるが、内容までは分からない」、「聞いたこともなく、内容も分からない」と答えた人に、障がい名について知っているか聞いたところ、「自閉症」については9割台半ば以上、「学習障害（LD）」については5割を超えて認知度が高いが、「広汎性発達障害」については1割未満と認知度が低い。

(2) 「発達障がい」の情報を得たい方法

「発達障がい」に関する情報をどのような手段で知りたいか聞いたところ、「広報紙」がほぼ6割で最も高く、次いで、「テレビ」、「市のホームページ」、「パンフレット等啓発資料」と続いている。

4. 中心市街地活性化について

(1) 中心市街地活性化に有効・必要な取組

今まで市や中心商店街などが連携・協力しながら取り組んできた事業のうち、中心市街地活性化に有効、必要だと感じる取組を聞いたところ、「商業活性化に向けた取り組み」がほぼ5割と最も高く、次いで、「再開発事業」、「歩道などの道路整備」と続いている。

(2) 行ってみたい、見てみたいイベント

中心商店街で賑わい創出に向けて開催されるイベントのうち、行ってみたい、観てみたいと思うか聞いたところ、「農産物の直売や物産展」がほぼ6割で最も高く、次いで、「グルメ関連イベント」、「音楽関連イベント」と続いている。

(3) 魅力ある中心市街地とするために必要な取組

中心商店街をより魅力ある場所、行きたいと感じる場所にするために必要な取組を聞いたところ、「魅力ある店舗の集積」が5割を超えて最も高く、次いで、「駐車場の整備」、「空き店舗の解消」と続いている。

5. 救急医療について

(1) 「救急受診の手引き」の認知度

「救急受診の手引き」を知っているかを聞いたところ、「知らない」がやや多い。

(2) 「救急受診の手引き」の保管状況

「救急受診の手引き」を保管しているかを聞いたところ、「保管していない」が6割を超えた。

(2-1) 「救急受診の手引き」を読む頻度

「救急受診の手引き」を保管している人に、「救急受診の手引き」をどの程度読むか聞いたところ、「殆ど読まないが、何かあった時に読む」が6割を超えた。一方、「よく読んでいる」は1割に満たなかった。

(3) 救急医療に関するイベントの認知度

市が実施している救急医療に関するイベントを知っているか聞いたところ、「知らない」がほぼ8割となった。

(4) 救急医療イベントへの参加希望

市が実施している救急医療に関するイベントに参加したいと思うか聞いたところ、「思わない」がほぼ6割となった。

(4-1) 救急医療イベントに参加したくない理由

「市が実施している救急医療に関するイベントに参加したいと思わない」と答えた人に「参加したいと思わない」理由を聞いたところ、「時間がない」が5割で最も高く、次いで、「内容が興味がわからない」、「会場に行くまでの交通手段が確保できない」と続いている。

6. 障がい者施策について

(1) 障がい者のために力を入れる福祉施策

今後障がい者のための福祉施策として力を入れるべきことを聞いたところ、「障がい者の働く場の確保など就労支援の充実」が5割を超えて最も高く、次いで、「ホームヘルプや自立訓練など福祉サービスの充実」、「相互支援体制の充実」と続いている

7. 「小中一貫教育と地域学校園」について

(1) 「小中一貫教育と地域学校園」の認知度

「小中一貫教育と地域学校園」について知っているか聞いたところ、「実施することは知っているが、内容については良く知らない」が3割を超えて最も高く、次いで、「言葉は知っているが実施することを知らない」と続いている。

(2) 「小中一貫教育」に期待すること

「小中一貫教育」に期待することを聞いたところ、「9年間を見通した学習により基礎学力が身につくこと」がほぼ5割で最も高く、次いで、「小中学生の交流などにより、豊かな心が育まれること」、「幅広い教育方法を取り入れることにより、教員の指導力が向上すること」と続いている。

(3) 「地域学校園」に期待すること

「地域学校園」に期待することを聞いたところ、「地域の子どもと大人がみんなで取り組む『あいさつ運動』や『地域清掃』など地域の人づくりが進むこと」が4割台半ばで最も高く、次いで、「地域の企業、事業所、教育機関等の協力により、地域での体験を生かした学習活動が充実すること」、「『街の先生』など学校支援ボランティアにより学校教育活動がより充実すること」と続いている。

8. 宇都宮市議会の広報について

(1) 議会の広報誌・ホームページの閲覧状況

議会の広報紙やホームページの閲覧状況について聞いたところ、「広報紙だけ見たことがある」がほぼ6割で最も高く、「広報紙もホームページも見たことがない」がほぼ3割となった。

(2) 議会広報誌でよく読む記事, 読みたい記事, 必要な記事

広報紙の中で読んでいる, 読んでみたい, 必要だと思う記事を聞いたところ、「一般質問の質問・答弁内容」が5割台で最も高く、次いで、「予算や決算の審査状況」、「議会のニュース（陳情結果など）」と続いている。

(3) 議会ホームページでよく読む記事, 読みたい記事, 必要な記事

議会ホームページの中で読んでいる, 読んでみたい, 必要だと思う記事を聞いたところ、「市議会の仕組み」が2割で最も高く、次いで、「市議会への意見投稿」、「政務調査費や議長交際費の情報」と続いている。

9. 宇都宮市を拠点とするプロスポーツチームについて

(1) プロスポーツチームの認知度

宇都宮市を拠点とするプロスポーツチームを知っているか聞いたところ、「3チームとも知っている」がほぼ5割で最も高く、「3チームとも知らない」が1割程度となった。

(2) 試合の観戦状況

宇都宮市を拠点とするプロスポーツチームの観戦状況を聞いたところ、「3チームとも観戦したことがない」が7割半ば以上、「3チームとも観戦したことがある」、「2チームの試合を観戦したことがある」、「1チームの試合を観戦したことがある」のいずれかのチームを観戦したことがある人が2割となった。

(3) プロスポーツチームへ期待すること

宇都宮市を拠点とするプロスポーツチームに期待することを聞いたところ、「チームの強化」が4割半ばで最も高く、次いで、「地域に密着した活動（地域イベントへの参加など）」、「スポーツ全般の普及活動」と続いている。

10. 青少年の薬物乱用問題について

(1) 青少年の薬物乱用防止策

青少年の薬物乱用防止のための意識啓発に最も必要だと思うことを聞いたところ、「高等学校までの学校教育で薬物乱用防止教育を強化する」がほぼ5割で最も高く、次いで、「家族で薬物の恐ろしさを取り上げて話しあう」、「新聞、雑誌、テレビやラジオ、インターネットなど各種メディアを活用する」と続いている。

(2) 良い啓発場所は

家族で啓発事業に参加する場合、適切な場所を聞いたところ、「地区市民センターや地域コミュニティセンターなどの地域の身近な施設」がほぼ5割で最も高く、次いで、「学校」、「大型ショッピングセンターなど郊外の商業施設」と続いている。